

付知町まちづくり協議会だより

2016.5.25発行 No36

平成28年度総会が開催されました

4月27日(水)、「平成28年度付知町まちづくり協議会総会」が、市長、市議、総合事務所長、市役所定住推進部長をご来賓にお招きし、会員54名の出席で付知公民館にて開催しました。

総会では、平成27年度の事業報告・決算、平成28年度の事業計画・予算、議案について協議され、全て承認されました。

【以下、会長のあいさつより一部抜粋】

多くの皆様にご協力頂き、まちづくり協議会が発足し9年になります。昨年この総会でみんなで知恵を出し合い、この町の自治の力を強くしていく事が小さな町が生き残っていく最良の方法ではないかというお話をさせて頂きました。

平成23年度に区長会とまちづくり協議会で全町民にアンケートを実施し皆さんの協力により、現在町内の各家庭に設置されている情報無線も災害時にはおおいに利用できると思っています。苦戦してやっと取り付けた情報無線ですので、情報の伝達の仕方など普段の情報伝達も含め、付知の町にとって、もっと役立つ情報の出し方、災害時の対応など、より細かい検討が必要かと思っております。

また、災害時に一番大事な橋と言えば今、建設中の「中央橋」です。今年の3月完成予定が9月へとずれ込み、毎日通学に使う中学生の皆さんはじめ、特に9区と尾ヶ平地区の方々には4年以上の不便な生活で御迷惑をかけておりますが、もう少しだけ待ってもらわなければなりません。国からの補助金が滞り、中津川市としては市の予算をやり繰りし、9月までには完成させたいのをお願いしたいとお話がありました。この中央橋も数年前の時点では予算のない中、新しく架け替えるなど誰もが思ってみなかつた事です。橋幅が狭く、歩行者が通るのに危険なので、せいせい歩幅をつけてもらう事へいろいろ通らないだろうと誰もが思っていました。しかし、

大災害が起きた時、中央橋が一番大事になる事は間違いなく、区長会、まちづくり協議会、合併後の付知審議委員会が合同で中津川市に要望し、4年間かかるけど新しく架け替えられる事になりました。個人の力は小さくても付知じゅうの組織がまとまって動く事でこんな大きな事業がもうすぐ完成する事に対し、私達は自信を持って良いと思います。が、国にも市にも財源は限られます。何でも皆で要望するだけではなく日頃から「自分達で出来る事は協力し合って動く」という、まちづくりの基本を大切に活動しなければなりません。どうか、まちづくり協議会の活動を地域に浸透させ、一人でも多くの住民の方が自分の事として協力、行動してもらえよう、働きかけて下さい。

県や中津川市も昨年より付知の観光に力を入れています。昨年は「おんぼいの湯」「熊谷守一つけち記念館」と食事等のツアーで何度か大型バスが入り、付知の町を観光客が散策され、大変ありがたく思いました。このような事を任んでいる住民が知っていて対応して頂ける事で観光にみえた方が地元へ帰り「付知は良い所だった」と他の人に宣伝して下さいます。地元に住んでいる私達も道を聞かれた時は親切に対応したり、通りを綺麗にするなど「おもてなし」の気持ちで接する事も付知の活性には大きな貢献になります。

熊谷守一つけち記念館やおんぼいの湯にみえたお客様にも足を運んでもらえるよう、良いチャンスをお逃す事なく努力して頂きたいと思っております。



～平成 27 年度事業・決算報告～

〈平成 27 年度はこんな事業を行いました〉

【収 入】

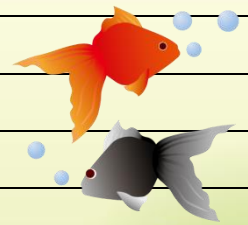
単位：円

科目	決算額	備 考
繰越金	2,061,028	前年度繰越金
寄付金	1,901,610	町内外者様からのご厚志 34件
補助金	500,000	中津川市地域づくり支援事業補助金
協力金	320,900	敬老会（町内各戸・付知町観光協会）スポレク祭（各区・体育協会）
雑収入	45,672	利息、ふるさと巡回ツアー、魚つかみ大会、こびちゃん婚活キャンセル料
合計	4,829,210	

【支 出】

単位：円

科目	決算額	備 考
事業費	1,370,197	・「まち協だより」の発行(120,820) ・付知町新年会(50,000)
		・敬老会(541,015) ・健康づくり事業(10,000)
		・こびちゃん ひまわり植栽(81,096) ・であいふれあい絆づくり(65,842)
		・ふるさと巡回ツアー(47,273) ・中学生との意見交換会(3,245)
		・文化財・史跡顕彰碑の作成(287,280)
		・文化芸能活動支援事業(16,111) ・スポレク祭(147,515)
補助金	508,056	・つけち夢まつり補助(100,000) ・河川道路清掃活動補助(50,000)
		・文化財保護活動費補助(50,000) ・付知川魚つかみ大会(106,920)
		・付知町スポーツ少年団駅伝大会(145,136)
		・子供体験学習(50,000) ・書初め大会協賛金(6,000)
事務費	1,088,760	・事務員賃金(823,200)・事務費(85,624)・通信費(81,440)
		・ホームページ維持管理費(90,936)・事業記録用データ作成(7,560)
旅費	21,660	・役員事務員費用弁償
予備費	0	
合計	2,988,673	



年間	本部役員会、役員会、各部会(4部会)、分科会、委員会等随時開催
----	---------------------------------

(収入) (支出) (残額)
 4,829,210円 - 2,988,673円 = 1,840,537円
 収入・支出差引残額 1,840,537円を平成 28 年度へ繰り越します。

～皆さまからのご寄付を宜しくお願いします～

～平成 28 年度事業計画・予算概要～

〈平成 28 年度はこんな事業を計画しています〉

◆主催事業

【総務企画部会】

●「まち協だより」発行（6回）	150,000 円
●付知町新年会	50,000 円
●若者によるまちづくり事業	100,000 円
●地域環境整備事業助成	150,000 円
●ゆるキャラ製作事業	50,000 円

【生活福祉部会】

●敬老会	550,000 円
●健康づくり事業	10,000 円
●であいふれあい絆づくり事業	50,000 円
●女性活動母体づくり事業（花植栽）	100,000 円

【農林商工部会】

●先進地事例調査事業	40,000 円
------------	----------

【教育文化スポーツ部会】

●ふるさと巡回ツアー	70,000 円
●中学生との意見交換会	30,000 円
●文化財・史跡顕彰碑設置事業	150,000 円
●スポーツレクリエーション祭	240,000 円
●文化芸能活動支援事業	50,000 円

◆事業補助金

●つけち夢まつり補助	100,000 円
●河川道路清掃活動補助	50,000 円
●文化財保護活動費補助	50,000 円
●付知町スポーツ少年団駅伝大会	150,000 円
●付知川魚つかみ大会	150,000 円
●子ども体験学習事業（版画）	50,000 円

◆協賛金

●付知町書き初め大会	6,000 円
------------	---------

◆その他事業

●会議費・事務費・旅費	1,385,000 円
●予備費	180,000 円

平成 28 年度予算合計

3,911,000 円



ゆるキャラ顔出しパネル

地元、付知中学校の卒業生が考えた「付知町のゆるキャラ」を町の活性化に役立てようと【顔出しパネル】を作成しました！！

森林の市にてお披露目し、現在は道の駅「花街道付知」にて展示させて頂いております♪

今後も作成し、付知町の皆さんはもちろん、観光客の皆さんにも楽しんで頂ける所に展示させて頂こうと思っています♪

♪春よ恋!は～やく恋!!♪開催しました!!

4月16日(土)、アートピア付知にてまち協びちゃん主催による婚活イベント「春よ恋!は～やく恋!!」が開催されました。

司会にエフエムぎふの久世良輔さんをお招きし、男性32名・女性26名の参加を頂き、ご対面回転すしや立食パーティー、デザートバイキング、ひまわりの種まきなどたいへん盛り上がりました!!

今回は6組のカップルが成立しました♪

今後も引き続き、行っていきたいと思います。



まちづくりのために 木曳車(きひきしゃ)を活用しませんか?!

全国育樹祭で使用された「木曳車」が【まちおこしのために
使用して下さい】と岐阜県より中津川市へ寄贈されました。

付知町まちづくり協議会では、この「木曳車」を
【付知のまちづくり・地域活性化】のために活用して頂ける方、
また活用方法についての提案を広く募集します!!

例えば・・・

- ◆おみこしの代りに使う
- ◆木材を載せ、産直住宅のPR
などなど・・・



告知【ひまわりの種まきを行います!!】

◆6月11日(土)午前10時から、ひまわり畑にて「ひまわりの種まき」を行います!!
皆様のご協力をよろしくお願い致します。

～ご寄付をいただきました～

申酉還暦同窓会一同 様	51,991 円
早川 美保 様	50,000 円
さのやお客様一同 様	17,925 円
付知製茶 様	20,000 円
早川産業竜華菴お客様一同 様	
	2,413 円

【H28.4.1～H28.5.14 受付分】 ありがとうございます!

王滝新道跡・同記念碑が 市の文化財に指定されました!!

中津川市史跡として指定になった王滝新道跡は、二区字樋口地内の白谷へ下りる旧道の一部と、一区字平作垣戸地内にある王滝新道記念碑です。(写真参照)

王滝新道は、明治6(1873)年から13年にかけて、付知村の御嶽講先達三尾甚平が新道の開設に着手、私財を投じ、付知・王滝両村民の協力を得て開設された、道幅平均6尺(1.83m)、延長およそ2.4kmの歴史の道です。

付知村の辻堂から真弓峠を越え長野県王滝村まで御嶽登山道の近道として開かれた新道は多くの人々に利用されるようになり、明治28(1895)年には当時の御料局により道幅9尺(2.73m)の林道として拡幅整備されました。

新道開設により付知は王滝、御嶽山へ向かう多くの人々で賑わいましたが、明治44(1911)年、中央線全通とともに利用者も減り、峠付近は道跡も荒廃し、昭和30年代には人の往来もほとんどなくなりました。

しかし、昭和30年代後半から営林署による林道の開設が進み、高樽谷に沿って真弓峠を越え王滝村までの林道の拡幅整備が計られ、更に昭和59年長野県西部地震により輸送車両の通行が可能な道路として拡充されて現在に至っています。

王滝新道の道跡、記念碑が市文化財として今後も大切に伝えられるよう願っています。



↑
旧道の一部



記念碑→

まちづくり協議会では今後も皆様のご意見を伺いながら、大切な寄付金を有効に活用させて頂きます。ご意見等ありましたら、事務局またはホームページまでお気軽にお寄せください!

編集・発行 付知町まちづくり協議会 広報委員会 ホームページ <http://www.tsukechi-machikyo.or.jp>

